

ク. 市庁舎を訪れた回数

問7 あなたは、この一年間にどの程度、次の各庁舎に行きましたか。市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所(旧町村役場)について、それぞれ一つずつ選んで○を付けてください。

・市役所本庁舎について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	27	4.8
2	二～三ヶ月に1回程度	53	9.5
3	半年に1回程度	101	18.1
4	一年に1回程度	127	22.8
5	一年以上行っていない	233	41.8
99	無回答	17	3.0
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	21	3.3
2	二～三ヶ月に1回程度	46	7.3
3	半年に1回程度	62	9.8
4	一年に1回程度	92	14.6
5	一年以上行っていない	401	63.5
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

・駅南庁舎について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	38	6.8
2	二～三ヶ月に1回程度	100	17.9
3	半年に1回程度	153	27.4
4	一年に1回程度	135	24.2
5	一年以上行っていない	125	22.4
99	無回答	7	1.3
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	28	4.4
2	二～三ヶ月に1回程度	50	7.9
3	半年に1回程度	85	13.5
4	一年に1回程度	102	16.2
5	一年以上行っていない	357	56.6
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

・各総合支所(旧町村役場)について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	6	1.1
2	二～三ヶ月に1回程度	3	0.5
3	半年に1回程度	15	2.7
4	一年に1回程度	26	4.7
5	一年以上行っていない	503	90.1
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	82	13.0
2	二～三ヶ月に1回程度	138	21.9
3	半年に1回程度	151	23.9
4	一年に1回程度	128	20.3
5	一年以上行っていない	124	19.7
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

問7では、各回答者が調査時点までの一年間に、市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所(旧町村役場)をどの程度訪ねているのかを質問した。この設問では、居住地域によっては行く機会がない庁舎もあると思われる。そのため、旧市の回答者については、本庁舎と駅南庁舎の訪問頻度を答えたとうえで各総合支所(旧町村役場)を無回答とした場合、旧町村部の回答者については、各総合支所(旧町村役場)の訪問頻度のみを答えたとうえで本庁舎と駅南庁舎を無回答とした場合、無回答部分については行く機会がないものと見なして、それぞれ「一年以上行っていない」として処理した。

それを踏まえ、各庁舎間の回答状況の比較で見えていくと、旧鳥取市内の回答者では、全体的に見て駅南庁舎に訪問する頻度が最も高いと言える。駅南庁舎の場合は、市の窓口等への用事だけでなく、同じ建物に入居する図書館やフィットネスクラブに通うケースも含まれると思われるが、「一年以上行っていない」は2割強にとどまっており、市民にとっての利便性の高さがうかがえる数字である。築50年近くが経ち、旧市内の住民にとっては馴染みが深いと思われる本庁舎については、「一年以上行っていない」は4割を超えている。一方、旧町村部の回答者について見てみると、やはり合併前まで町村役場として利用されていた各総合支所へ行く機会がかなり多く、本庁舎や駅南庁舎に「一年以上行っていない」人は概ね6割前後に上る。

旧市であれ旧町村部であれ、投票参加の割合は本庁舎への訪問頻度に概ね比例して高まり、棄権の割合が最も高くなるのは「一年以上行っていない」人で、両地域ともに25%程度に達する。本調査では棄権者の回答が少ないため、実際に住民投票を棄権した人の中には、本庁舎へ行く機会のない人はさらに多いと推測される。既述の投票理由に関する集計結果とも併せて考慮すると、市庁舎の利便性という観点から今回の住民投票における投票行動を決定した有権者は、一部にとどまるものと考えられる。同時に、本庁舎に足を運ぶ機会すらない多くの市民に対しても、庁舎整備に関して多様な視点から判断を求めること自体に、今回の住民投票が抱えた限界を見出すこともできる。